

## 経済産業省「令和5年度補正グローバルサウス 未来志向型共創等事業委託」における 日印半導体産業育成マスタープラン策定等調査事業の採択について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、経済産業省が実施する「令和5年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業委託費（南西アジア地域との経済連携強化に向けた戦略策定及び我が国企業の海外展開促進等調査）」において、日本・インド両国の半導体産業育成を目的とした日印半導体産業育成マスタープラン策定等調査事業を提案し、採択されました。

インド政府は半導体の国産化を目指した「セミコン・インディア・プログラム」政策による産業育成に取り組んでおり、これまでに日本企業を含めた計5件の半導体前工程・後工程プロジェクトが政府補助金認可を受け、2025年以降の稼働に向けて準備を進めております。我が国では、2023年に両国間で署名した「日印半導体サプライチェーンパートナーシップに係る協力覚書」に基づき半導体サプライチェーンの強靱化に向けた日印の協力を進めており、本調査事業はこれら両国間の動きを更に強固なものとするべく取り組むものとなります。

みずほ銀行は、本調査事業全体の企画運営を担い、日本・インド等の半導体関連企業と協働して、両国の半導体産業の確立・強化を目的としたマスタープランの策定、およびそのために必要な官民連携、人材育成、インフラ構築をインド政府および関連機関に対して提言します。

〈みずほ〉はグローバルビジネスの拡大をめざすうえで、インドを注力国の一つと位置付けており、2024年9月に6番目の拠点となるギフトシティ支店をグジャラート州内に開設する等、インドにおける自社機能の拡充を進めてきました。今回採択された調査事業を通じ、〈みずほ〉は、金融の立場から日本産業の成長戦略をサポートするとともに、インドの半導体産業の育成および持続的な発展に貢献していきます。

以上